

獣医師による

「メシマゼウス」投与実施報告書

* 投与動物種

* 病歴

* 投与報告書

* 投与実験

* その他

「メシマゼウス」動物モニター、動物種、性別、誕生日（年齢）、色、その他

M01. (犬) 中型日本犬♂ S.63. 9生まれ 黒茶 18.3kg (腫瘍 弱白内障)

病歴 呼吸疾患（肺炎、気管支炎）、消化器（下痢、嘔吐、血便等）で、全体的に肥満傾向、H10.11月に、背尖部に小鶏卵大の腫瘍摘出手術を実施、その後再発なし、老化防止、肥満防止、腫瘍再発防止を目的にモニター依頼。「メシマゼウス」1日3gを投与するのに、初期に於いては食べさせるのに苦労したが、餌に混ぜて与えることで普通に食べている。大同小異で大きな変化は認められません。少しスリムになった様です。投与中の副作用特に下痢、嘔吐、アレルギー症状等はありません。(写真1参照)

M1 (写真 1)



30日間投与、大きな変化なし



50日間投与、少しスリムになる

M02. (犬) ビーグル系 ♀13才令 茶黒白 13kg (腫瘍 白内障)

病歴 末期腫瘍の状態、2ヶ月位「メシマゼウス」1日3gを与えていたが、H14.1.15頃位に容態悪化、食欲低下、起立歩行困難で消瘦状態に陥る。1月19日に蓄主より見るに忍びないと安楽死の依頼を受けた。

「メシマゼウス」を服用し腫瘍の一部を軟化させ、その一部を大きく崩し粘性物を排出していた。又、白内障に関しては相当に眼がきれいになり白濁がとれていた。「メシマゼウス」の効果を実証してくれた。(写真2参照)

M2 (写真 2)



約2ヶ月投与、両眼白内障の白濁軽減し澄んでいる



乳癌、腹部上方部分崩壊し陰部下方に向かって軟化し少し陥没している

M03. (犬) シーズー ♀ 8才令 薄茶ブチ 4～5 kg (腫瘍 白内障)

病歴 1才令時より免疫力弱く疾病回数多く、又、異常体質により皮膚組織に代謝障害による異質物の摘出手術回数そして皮膚腫瘍摘出手術回数、その上両眼白内障を呈していた犬でした。体質改善の治療を施している最中に「メシマゼウス」1日1gの話しがあり半信半疑で同時進行させて観察した結果、2週間位で白内障の白濁が軽減し効果を高めてくれました。皮膚組織に関しては皮膚弾力も出てピンク色を呈した。皮膚炎の発症が少なくなり毛生えもよくなり痒みもなく、腫瘍等出現は現状時点ではない。数年ぶりに生理があり「メシマゼウス」の投与で相当の体質改善ができたものと思える。「メシマゼウス」の嗜好性と副作用については初期段階ではなかなか食わず、種々のウェットタイプの餌に混ぜて投与した。2～3日下痢を起こしたが嘔吐はなかった。数日投与をやめて再投与を開始させた。その後は餌に混ぜるだけで食べていてアレルギー症状等の副作用も無く日々元気でジャンプ力も強くなり健康に過ごしている。(写真3参照)

M3 (写真 3)



2週間後に両眼白内障の白濁が軽減する
犬創傷性角膜の角膜白濁が少し残存



2ヶ月目、両眼白濁軽減し透過性あり
緑色に見えるのは光のため



50日前後にて皮膚がピンク色に弾力があり
被毛が増え清楚な皮膚になる



3ヶ月目の皮膚良好、
被毛生え揃う全体像

M04. プードル ♀ 8才令 ダークグレー 8kg (腫瘍 白内障)

病歴 「メシマゼウス」の効果を一番強く印象付けてくれたモニター犬です。左右両側にフランクフルト状に大きく乳腺腫瘍が存在し食欲不振、両側白内障を呈し予後不良と思われた犬である。蓄主の希望により2回に分けて摘出手術を実施した。2回目の術後より「メシマゼウス」1日2gを投与させ7~8日目位から眼の白濁が取れ始めたもので白内障の白濁軽減に自信を持たせてくれた。又、摘出時に一部取り残した小さな腫瘍部分が約2ヶ月投与と共に消失し癒着障害にならずきれいな皮膚形状を示してくれた。2回目の手術時に腰部付近にドリリング状の硬い腫瘍状の腫瘍が存在していたが4ヶ月弱「メシマゼウス」を服用続けた結果完全に消失し新しい皮膚形成を成している。副作用は特別ありません。(写真4参照)

M4 (写真 4)



左側乳癌摘出手術後
2週間



右側乳癌摘出手術直後



右側乳癌摘出手術処置後
(15分後)

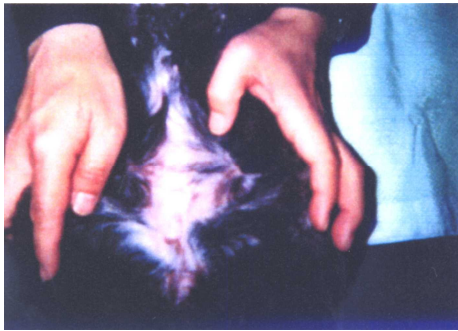


乳癌摘出手術後の癒着過程

1ヶ月目



投与1ヶ月後、両眼白内障の白濁が半分以上消失している。



左右乳癌摘出手術後きれいに癒着した。



腰部に1.5cmのドングリ状の腫瘍が3ヶ月で消失した

M05. (犬) 甲斐犬 ♀13才令 甲斐虎 17kg (腫瘍 白内障)

病歴 H13.9.末より心臓発作、起立歩行困難を呈し食欲不振に陥り予後不良を思わせる状態であった。補液、血管拡張剤、強肝剤等の治療を2日程実施し様子を見ていたら少し持ち直し食欲が出てきたので、餌に「メシマゼウス」2g与える様に指示し様子を観察していた。4~5日後に元気が出てきて自力歩行が出来る様になり蓄主と散歩に行ける様になる。効果が現れる様になって10日~2週目に白内障の白濁がウソの様にきれいに取れ、白内障に対する治療効果が速かったと思っている。この犬に関しては腫瘍、肝硬変、循環器系等の合併症の代謝障害の改善効果を期待して投与していたが、1月10日に重度の再発作を起こし死に至った。(写真5参照)

M5 (写真 5)



投与1ヵ月後の白内障の白濁が1/2消失

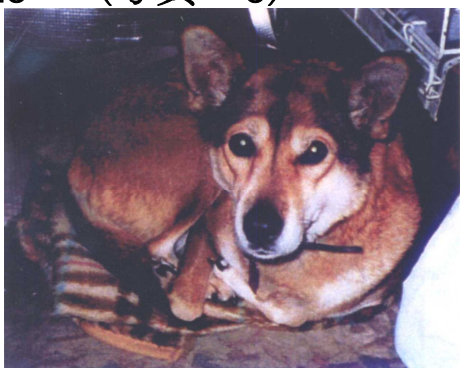


投与2ヶ月後の白内障の白濁はほとんど消失している

M06. (犬) 甲斐犬 ♀ 10才令 茶色 19kg (腫瘍 白内障 肥満予防)

病歴 腫外側部にウズラ卵大腫瘍が存在し、その上両側白内障を呈している。その後腹部右側に親指大の乳腺腫瘍の存在が判明している。亭主より摘出手術の依頼を受けているが、「メシマゼウス」1日3gのみで様子を見ることにした。現状時において腫部の腫瘍に対しては効果が現れていない。白内障に於いては両側共7割以上の効果を示し白濁がとれ眼が澄んできれいだ。少しスリムになり以前より元気に見受けられる。投与は餌に混ぜて与え、普通に食べて食欲も増している。大きな副作用もなく下痢、嘔吐、アレルギー症状等は認められなかった。(写真6参照)

M6 (写真 6)



投与2ヶ月で白内障の白濁が殆ど消失している

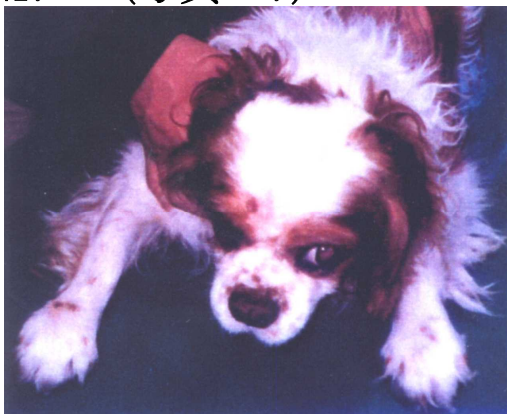


陰部右側に腫瘍存在

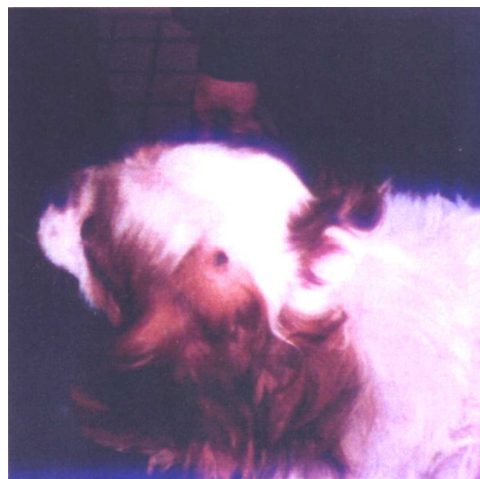
M07. (犬) キャバリア ♂ 10才令 白茶パーター 6kg (腫瘍 皮膚炎 白内障)

病歴 「メシマゼウス」1日1gを投与するようになってから軟便を呈していた便が硬まって、散歩中の元気も出て尾を上げて歩く様になった。中期白内障の症状を呈すも、この犬についての効果は現れていない。数ヶ月の腫瘍の軽減目的にモニターしているが投与期間2ヶ月では効果が上がってこない。投与は餌に混ぜて食べさせているが嫌がらない。下痢、嘔吐、アレルギー症状等の報告はありません。(写真7参照)

M7 (写真 7)



左眼上、右眼瞼部、鼻端部に腫瘍

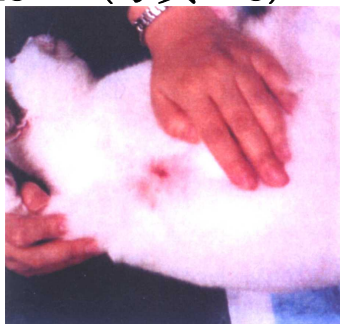


耳根部、その他腫瘍数箇所存在

- M08. (猫) スコティッシュホールド ♀10才令 黒茶縞 4kg (腫瘍)
病歴 避妊手術の依頼をうけ、実施したら卵巣、子宮の一部迄腫瘍があり全摘出手術を実施した。4才令時に頸部、背尖部に腫瘍が出来て摘出手術を行った。腫瘍発生の予防と肥満成人病の予防を目的として「メシマゼウス」1日1gを2ヶ月のモニターで依頼した。結果は、食欲旺盛になり、そのかわりに体重が減少しスリムになっている。腫瘍の再発は現われていない。眼ヤニの発生も非常に少なくなっている。「メシマゼウス」の嗜好についてはよく食べ、下痢、嘔吐、アレルギー症状等の副作用はありません。
- M09. (猫) スコティッシュホールド ♂10才令 ブラウン 5kg (腫瘍)
病歴 全体的に健康ですが、4～5才令時より時々排尿困難、血尿を伴う泌尿器症候群を起こす、又、皮膚腫瘍が発生して摘出手術を実施している。肥満成人病の予防、腫瘍発生の予防、泌尿器系疾病の改善を目的にモニター実施をお願いした。結果は、食欲旺盛になり、そのかわりに体重が減少しスリムになっている。「メシマゼウス」の嗜好については良く食べ、下痢、嘔吐、アレルギー症状等の副作用はありません。
- M10. (猫) スコティッシュホールド ♀9才令 ブルー 5kg
病歴 この猫は平均的に健康で消火器系の胃腸炎を起こし下痢、嘔吐を発生する位で、嘔吐もヘアボール（羽毛球）のためが多く、大きな疾病は起こしていない。やや肥満が問題だ。腫瘍、肥満、成人病等予防を目的にモニターを依頼した。股間部付近の小豆大腫瘍2個が投与前に柔らかく感じていたのが投与40日位より硬化してきて3ヶ月を超える頃から又、軟らかくなってきている様に感じている。この軟らかくなった腫瘍部分の縮小することを願って再度モニターを継続して頂いている。「メシマゼウス」の嗜好については、吐かずが羽毛球との関係であると報告している。
- M11. (猫) 日本猫 ♀12才令 三毛 5kg (腫瘍 肥満)
病歴 股関節、腰部疼痛、背尖部、両側腹部の腫瘍を2回摘出手術実施、左側にまだ腫瘍が存在している。肥満脂肪過多、成人病予防、腫瘍抑制を目的にモニターを実施してきた結果、肥満脂肪過多に於いては体重の約一割減少しスリム化している。腫瘍に関しては、また新しい場所（胸腹部に大豆大と小ビーンズ大）2個確認し計3ヶ所存在している。今まで存在した側腹部脂肪腫と思われるものは「メシマゼウス」の治療軽減効果を確認するために摘出手術せず、新たに確認した2個は摘出手術してその腫瘍の病理組織学上の検査をすることにした。この猫は「メシマゼウス」1日1gを食べさせるのに大変

苦労し、平均的に1/2包位しか食べていないと思われる。腫瘍に対する効果判断をするには、少し少量であったと思われるが、半量でもダイエット効果は得られている。下痢、嘔吐、アレルギー症状等の副作用はありません。

M8 (写真 8)



抜糸直後



胸部（大豆大）腹部ビーズに二ヶ所腫瘍
摘出手術直後

- M12. (猫) 日本猫 ♀13才令 茶トラ 5kg (肥満)
病歴 今まで特に病歴もなく定期予防接種のみで、避妊済みの猫。平成13年11月22日の検診で肥満大、老化がすすんでいる。肥満、老化、成人病、腫瘍発生予防の目的でモニター実施の結果、特別な変化はないが、以前より元気旺盛になり食欲も出て毛つやも良くなりスリム化し肥満にならず喜んでいる。与え方はウェットタイプの餌に混ぜて与えている。「メシマゼウス」の嗜好は下痢、嘔吐、アレルギー症状等の副作用はありません。
- M13. (猫) 日本猫 ♂7才令 キジトラ7kg (肥満 ダイエット)
病歴 超肥満猫でイエローハット（黄色脂肪変性症）を心配して、肥満、成人病、腫瘍発生予防の目的でモニター実施の結果、一ヶ月～一ヶ月半で体重が800g軽減、蓄主もこのダイエット効果には驚いている。最初、食いつきが悪くカプセルに入れての投与となるが、締めかけた蓄主に説得して投与させることが大事であることを痛感した。投与に関し一時の拒否反応はあったが、下痢、嘔吐、アレルギー症状等の副作用はありませんでした。
- M14. (猫) 日本猫 ♂10才令 クロシロ 5.5kg (腫瘍)
病歴 腹部に腫瘍を確認し「メシマゼウス」1日1gを投与し縮小したが、1月末から嘔吐を訴えていた。他院にて、エコー検査、バイオプシー検査により小腸の一部に十円硬貨大の腫瘍、腎臓の一方が腫瘍で肥大していると報告を受け相談をした結果、蓄主は当院の指示で「メシマゼウス」の粉末を1日数回に分けて栄養補給を目的に服用させ、抗がん剤、摘出手術等は避け天命を持つことになった。

M15. (ハムスター) ♀ 10ヶ月令 ブルーサファイア 120g (肥満解消)

病歴 ケージに足を挟み捻挫をし、その上超肥満であまり動けず体温低下と脱水を起こしていた。処置をして保温を注意するように命じ、水分補給を欠かさないようにして、同時に「メシマゼウス」を耳かき1杯程度をひまわりの種投に蜜を塗って食べさせるように指示した。「メシマゼウス」を食べるのは確認したが、2日後脱水のため死亡した。

M16. (ウサギ) プチウサギ ♂ 6ヶ月令 黒色 1.2kg (アレルギー)

病歴 花粉症による鼻炎。抗生物質とステロイド剤のシロップを服用させ「メシマゼウス」を耳かき2杯程度をフードや野菜に蜜をつけ「メシマゼウス」をつけて投与する様に指示した。

M17. (犬) アメリカン・コッカ・スパニエル ♂ 3才令 白黒パーター (アレルギー皮膚炎)

病歴 アレルギー性皮膚炎で通院、慢性皮膚炎、アレルギー体質、肥満予防を目的に「メシマゼウス」1.5gを1日1回投与する様に指示して餌に混ぜて食べさせた。痒みが少し無くなり皮膚炎も少しずつ改善されている。下痢、嘔吐、アレルギー症状等の副作用は、起こしてません。